

決 算 の 概 要

(1) 決算額の比較

本年度決算額と前年度に対する比較増減の主なものは、次のとおりである。

① 事業活動収入

生徒納付金	生徒数 34 名減の 1,073 名(高校 20 名減、中学 14 名減)により 437,390 千円となった。前年度比 97.3% (11,850 千円減額) 内授業料減免(補助金振替分) R7 57,757 千円 (R6 68,639 千円)
補助金	経常費等補助金 546,044 千円 前年度比 96.1% (22,069 千円減額) (授業料減免、物価高騰、外国語教育、サポートスタッフ補助金等) 内: 県経常費補助金 476,460 千円 前年度比 97.1% (17,337 千円減額) (高校: 465,111 千円、中学: 11,349 千円) 一人当たり単価 高校 440 千円 前年度比 99.0% (3,790 円減額) 中学 709 千円 前年度比 130.9% (167,746 円増額)
資産運用収入	受取利息・配当金は 86,017 千円 前年度比 123.9% (16,620 千円増額)

以上の結果、事業活動収入合計は 1,091,776 千円となった。前年度比 98.6% (15,185 千円の減額) となった。

② 事業活動支出

人件費	683,390 千円 (大幅な給与等ベースアップ・昇給を含む) となった。 前年度比 97.4% (18,390 千円の減額) 学校会計基準の改正により退職給与引当金 (412 千円)、賞与引当金 (48,246 千円) を計上
教育研究経費	261,303 千円。前年度比 127.6% (56,502 千円の増額) 奨学費 27,947 千円。前年度比 105.8% (1,539 千円の増額) ○ 特待生 特 A 93 名(内新入生 32 名)、特 B(新入生) 16 名 ○ 兄弟姉妹 中学 4 名、高校 69 名 他 ○ 特別奨学生 7 名 ※ 対授業料比率 7.4%
管理経費	45,690 千円。前年度比 151.4% (15,541 千円の増額) 支払修繕費 13,129 千円計上 (生徒寮費改修経費) 補助活動費 6,965 千円を計上 前年度比 92.1% (597 千円減額) ※ スクールバス経費+食堂運営費+検定事務手数料

以上の結果、事業活動支出合計は 1,137,329 千円となった。前年度比 121.2% (199,034 千円の増額) となった。

③ 基本金

第 1 号基本金について、今年度の組入額は中学の部が 272 千円 (取得: 図書 272 千円)、高校の部が 274,461 千円 (取得: 建物 17,383 千円、備品 17,887 千円、図書 498 千円、建設仮勘定 238,693 千円) であった。一方、除却が△245,217 千円であった。

以上の結果、本年度の繰入額は 29,515 千円となり、前年度繰越額 5,425,387 千円と合わせて、第一号基本金の次年度繰越額は 5,454,903 千円となった。

第 4 号基本金は昨年同様 65,000 千円であった。

④ 翌年度繰越収支差額

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額△45,553 千円に基本金組入額 29,515 千円を加えてたことにより、当年度収支差額は△75,068 千円となった。

結果、前年度繰越収支差額 2,160,019 千円に当年度収支差額を加え、2,084,951 千円となった。